



山と田畑の境に設置された防護柵  
(撮影場所：白山町上ノ村地内)

**地域の皆さんも積極的に活動しているんだね。**

これまでの取り組みで平成21年度以降、野生鳥獣による被害は少しずつ減ってきているんだけど、その被害額は平成23年度をみても4,400万円にもなるんだ。

**そんなに被害があるんだ。**

うん。だから被害を広げないためにも、活動を続けていくことが大切なんだよ。

**被害をなくすために、何か新しい方法はないの？**

獣害をこれ以上増やさないために、シカを一斉に捕獲する「ドロップネット」を設置したり、隠れ場所となる山と田畑の境の草むらをなくす「大規模緩衝帯」を作るなど、新しい方法が取り入れられていて、市でもその効果を確かめるために、実証実験を行っているところなんだ。

**効果があるといいね。**

うん、そうだね。それに最近では市街地での目撃も増えていて、市街地に現れたイノシシによって、怪我をしたなんてこともあったんだ。

**それじゃあ、市街地で目撃したときはどうすればいいの？**

シカやサル、イノシシなどが民家の近くに来ないように、地域が一体となってさまざまな取り組みを行っているんだ。

**地域一体の取り組みって？**

現在、市内には片田、八幡、赤坂、穴倉、桂畑、上ノ村、上稲葉、向居・山出の8つの地域で獣害の対策に取り組む協議会が設置されていて、それぞれの協議会では獣害をなくすための研修会や活動を行っているんだ。市はこの活動にも補助しているんだよ。



イノシシに遭遇！シロモチくん、ピンチ！

まずは怪我をしないように身を守り、すぐに市や警察などの関係機関に連絡をしてほしいんだ。市では目撃情報が寄せられると、現場に職員が急行し、警察や関係機関と連携して、追い払いやパトロールをしているんだよ。

**市の職員や警察官が来てくれると安心だね。**



猿除けに電流が流されている防護柵

この他にも、サルが頻繁に出没しているところでは、自治会が注意を促す看板を設置したり、回覧板などで注意を呼び掛けているんだ。また、猟友会の協力を得て、サルやイノシシなどを捕まえるための捕獲檻おりを設置しているところもあるんだよ。

**看板や檻を設置したいときはどうすればいいの？**

市で貸し出しをしているので、一度相談してみるのもいいね。

うん。獣害対策のことがよくわかったよ。ありがとう、シロモチくん。おいしい農作物が食べられなくなると困るから、この獣害について、みんなで一緒に考える必要があるね。



昨年11月8日に片田地域で行われたドロップネット実証実験  
(津市広域獣害対策連絡協議会主催)